

Interview



商工会青年部 部長
高本 展好さん

夏を代表するイベントとして昭和51年から「夜市」「カナダフェスタ」と名前を変えて親しまれてきた真夏の祭典「I Love フクチフェスタ」。今年は合併10周年なので例年以上に盛り上げたいです。恒例の「大縄でQ」は子どもたちに楽しい思い出を作してほしい、「浴衣でナイト」は地元企業を応援したいという思いで企画しています。まだまだ団体の応募は受け付けていますのでぜひご参加を。みんなで楽しんで一緒に夏の思い出を作りましょう!



夏のふれあい塾で水遊び

芝生の上でそり遊び

大人も一緒にシャボン玉

まずは始まりの会で自己紹介

和子 愛知にいたらサークルは始

みんなで盛り上げよう

たいです。みんなで意見を出し合って楽しいものを作り、この活動が、子どものために同じ思いを持つ親がつながるきっかけになればいいなと思っています。
寿一 商工会の活動でも、みんなで支え合いアイデアを出し合うからこそ面白いものができると思います。仕事をしながらの活動なので大変だと感じることもありませんが、仲間や地域のみなさんとのつながりを持てたことがとても大きいのです。



福天と考える
まちの
コレカラ

福智町の いいね! を
つなげよう Interview

町の元気のために活躍する稲垣夫婦。夫・寿一さんは商工会青年部の副部長、妻・和子さんは子育て支援サークルの代表をしています。団体を運営、子育てする中で感じた町の魅力や課題、今後の町への思いを聞きました。



オラに会いにきてフクチッ!!



ちょっぴりシャイな福天が、この日は金田商店街に来ることを約束してくれました!そして田川地区のゆるキャラ「ハッチーズ」も応援に駆けつけてくれます。

P 2, 3 の答え

- ① 福智山 ② 虎尾桜 ③ 上野焼 ④ 協奏の庭 ⑤ 迎撃の藤 ⑥ 大茶会 ⑦ 白糸の滝 ⑧ 興国寺 ⑨ 伊方古墳 ⑩ 赤れんが ⑪ ふれあい塾

もっと町に目を向けて

和子 結婚をきっかけに6年前に愛知県から福智町に来て、最初は何もないと感じていましたが、暮らしているうちに、観光名所の多さに驚きました。例えば白糸の滝や岩屋権現などのパワースポットや、おいしい食、温泉もあり、町の中だけで一日中遊べますよね。だけど意外と町の人知らないんです。こんなに良いところが多いのにもったいと思います。

寿一 確かに合併した町だからこそ知らないところが結構あるかも。和子 良い素材がたくさんある町と出会えて本当にうれしい。また、それ以上に私は町の人のあたたかさや町の大きな魅力だと思っています。子どもたちのためにも、私たち大人が今あるものをもっと知って生かすことで、可能性は無限大に広がると思います。

一歩をふみだしつながる

和子 3年前、他町のプレイパークに参加して、福智にも子どもが生き生きと外で遊んだり、子育て世代のつながりの場があったらいいなと思っていました。ちょうどその頃、町主催の「スタートアップ講座」

があったので参加しました。何度か研修を重ねるなかで、「つながれる場を作ろう」と思い立ち、今年3月から活動を広げるためにプレイパークから始めました。町は自然豊かで、子どもが走りまわれる公園もたくさん。「あるものを活かした」遊びを楽しむ活動を、できることから少しずつやっていきたいです。プレイパークは外遊びなので、子どもが持っている力だけですぐに始められます。

寿一 プレイパークでの手伝いを頼まれ、最初は遠慮がちでしたが、とりあえず参加しました。すると参加者が楽しそうにしている姿を見て、「もっとこうしたい方がいいのではないか」と考え、いつのまにか率先して動いていました(笑)。参加者たちの「楽しかった」「また来たい」という言葉を聞くと、行って良かったと思います。

和子 運営していて感じるのは、提供する側とされる側に分かれていくということです。「一緒にやろう」という人が少ないと感じます。ふれあい塾でしているので、町の人にもっと参加していただき

人で何度か会議を重ねながら夏のフェスタを企画しています。大人も子どもも一緒に楽しむことで、子どもたちへ町の魅力が受け継がれるような祭りにはしたいです。そのためにもっと多くの人に積極的に参加していただき、一人でも多くの人に、「アイラブふくち」の心を持ってもらえるような祭りにつな



19時に集合し運営会議を開催

福智町の子育て支援グループ
「Fukuchi Family comolevi」
コモレビはプレイパークなど親子で楽しめる催しを毎月第4日曜日に開催。プレイパークとは「自由に遊ぶ」活動のことで、子どもたちが自然の中でのびのびと遊ぶことで自主性や冒険心が育まれます。facebookで活動を詳しく紹介しているので見てください。